

都市再生整備計画

よなごこう じょうかまちしゅうへん だい き
米子港・城下町周辺地区(第2期)

とっとり よなご
鳥取県 米子市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	鳥取県	市町村名	米子市	地区名	米子港・城下町周辺地区(第2期)	面積	131.8 ha
計画期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度	交付期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度				

目標

- ・米子港、新加茂川、加茂川など貴重な親水空間を生かした新たな魅力創造
- ・まちと河川が交わる港湾の立地条件を有効活用した地域活性化
- ・主要な緑地や交流施設を結ぶ歩行者の散策回遊ネットワークの形成
- ・誘導施設の整備による文化機能の充実、観光、歴史などの要素を融合させた地域づくり
- ・鳥取大学医学部附属病院の再整備とまちづくりの視点で連携した公園再整備によって医療、健康増進機能の更なる向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
 米子港周辺地区においては、平成22年度に、官民が参画した米子港再生委員会を鳥取県が設置し、関係行政機関や民間団体の代表者を変え利活用策の検討を行い、平成23年度には「漁港マリーナゾーン」、「活性化ゾーン」、「物流ゾーン」の3区域を設定する枠組みが整理された。しかし以降の具体的な検討を進めるには、個別具体的な開発構想等が必要であったことから、利活用に係る検討は一旦、休止した。
 平成30年度に本市が「河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す」中「中海・錦海かわまちづくり計画」を策定し、国、県、市が分担して親水護岸、棧橋、広場、駐車場等の具体的な整備に着手することとなった。
 これを契機に米子港周辺地区全体の活性化を目指すため、鳥取県が学識経験者、観光・商工関係者、地元関係者、関係行政機関による「よなごべイウォーターフロント検討会(以下「検討会」という)」を設けた(米子市は委員として2名の部長が参画した)。検討会は3回にわたる会議の結果、令和2年2月に基本コンセプト及び活用にに向けた取組事例等の米子港周辺ウォーターフロント活用策を取りまとめた。今後の米子港周辺地区の利活用を推進するためには、検討会が取りまとめた活用策の具体化に向け、国・県・市、民間が連携しながら一体的な取組を進めることとしている。ポート、ヨットといった住民による日常的な湖面利用はもとより、地域のランドマークであり多くの観光客及び住民が訪れる米子城跡及び城下町周辺、地ビールフェスタ(屋外の飲食イベント)等の民間主体で実施されている各種賑わい創出事業、周辺のリニューアルオープンした児童文化センター(プラネタリウム)等の交流施設による集客の流れ等を一体的に活用し、更なる地域活性化が図る機運が高まっている。
 令和5年3月に策定した「米子市立地適正化計画」の中で、中心市街地の対象区域として都市機能誘導区域に位置づけられており、誘導施設である山陰歴史館の再整備、鳥取大学医学部附属病院の再整備と連携した湊山公園の再整備及び周辺環境の整備により都市機能の充実と米子港を中心とした歩行者の散策回遊ネットワーク形成を図る。米子港周辺地区の回遊性の効果をさらに高めるため、山陰歴史館の再整備及び鳥取大学医学部附属病院の再整備に伴う湊山公園再整備による機能向上、また、城下町・寺町周辺の道路整備や照明施設設置等の更なる基盤整備を図る。

課題

米子港周辺地区では、米子城跡ライトアップ等の魅力発信事業や城下町ガイドコースの設定、民間事業者による商店街の再生、地元の食材を活用した屋外イベント、官民が連携した清掃活動、市民レガッタに代表される民間主体の中海を活用したスポーツイベントなど、多様なにぎわい創出の取組が展開されているが、それぞれが単独で実施され、相乗効果を十分に発揮していない。また米子港周辺地域には徒歩圏内に、公園や文化・歴史などに係る交流施設等が集中しているにも関わらず、来訪者に地域を周遊し、長時間滞在してもらう環境整備が十分に整っていないため、地域資源の有効活用が十分に図られていない。
 現在、拠点整備が完了し、来訪者の受け入れ体制が整いつつあるが、地域全体の回遊性を高めるには、周辺エリアとの連携強化が課題となっている。特に、山陰歴史館の再整備や令和11年度の工事着手を見据えた鳥取大学医学部附属病院の再整備に合わせた湊山公園の再整備は、地域の回遊拠点として重要な役割を担っている。湊山公園は、医療・歴史・文化資源をつなぐ結節点として、休憩や交流、イベントの場としての機能強化が求められており、着実な事業進捗が不可欠である。また、城下町や寺町周辺の道路や照明の整備は、歴史的景観を活かしつつ、安全で快適な歩行環境を整える基盤整備が急務である。
 今後は、整備済の拠点施設を活かしつつ、周辺エリアの機能強化と基盤整備を戦略的に進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出し、米子港・城下町周辺地区に新たなにぎわいと活力を生み出していくことが求められる。

将来ビジョン(中長期)

- まちづくりビジョン(総合計画兼総合戦略)
 - まちづくりの基本方向に、中心市街地のにぎわい創出を掲げ、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成をめざしている。
- 米子市都市計画マスタープラン
 - 米子城跡などの歴史的・文化的な資産や加茂川、新加茂川、米子港などの貴重な親水空間があり、これら資源をいかしたうおいのあり、いきいきとしたまちづくりを進めるとしている。
- 米子市中心市街地活性化基本計画
 - ふるさとをいかしたまちづくりを方針に掲げ、自然や歴史資源と商業・文化等の都市機能との連携を図り、多様な目的を持って訪れる人々に満足感を与え、個性が際立つ交流の活発なまちの創出をめざしている。
- 中海・錦海かわまちづくり計画
 - モノ・コト・ヒトの集積点となることで新たな賑わいを創出し、地域活力を生み出すとともに、市民に潤いをもたらす憩い空間及び環境学習の場としての活用により、更なる地域の水上利用、水辺空間とのふれあいを促進することで、かわとまちが一体となったより魅力あるまちづくりを推進するとしている。
- 米子市公共交通ビジョン
 - 地域拠点または交通結節点と中心部を結ぶ路線は、本市のまちづくりにとって極めて重要であると認識し、維持・確保に努めとしている。本市のコミュニティバスについては、導入の経緯や現在の利用状況等を踏まえ、ルート等の見直しや多様な運行方式による効率化及び利便性向上を図るとしている。
- 米子市立地適正化計画
 - 少子高齢化・人口減少等に対応するため、持続可能で歩いて暮らせる集約型のまちづくりを目指す取組を推進し、今後必要な都市機能(医療、福祉、商業、その他の居住に関連する施設)及び居住を誘導する区域を明確に位置付け、その誘導を図っていく計画として「米子市立地適正化計画」を策定した。本計画において、中心市街地と一体となる区域で将来的な都市機能の集積が見込まれる区域として都市機能誘導区域に設定している。
- 米子港・城下町周辺地区まちづくり基本計画(令和7年度策定予定)

都市構造再編集中支事業の計画 ※都市構造再編集中支事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方
 「米子市都市計画マスタープラン」の将来都市構造における都市拠点として位置づけられている区域の周辺において、都市機能が充実している区域、または将来的な都市機能の集積が見込まれる区域を都市機能誘導区域として設定している。米子港周辺地区は、中心市街地と一体であり将来的な都市機能の集積が見込まれる「米子港活性化ゾーン」として都市機能誘導区域に設定する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値			
				従前値	基準年度		
米子港・城下町周辺地域の入込客数の増加	人/年	城下町観光ガイドの年間利用者数	米子港・城下町周辺地区の入込客数を定量化する指標として、下町観光ガイドの利用者数を設定する。	2,000	R6	3,000	R12
米子港・城下町周辺地域の滞在時間の延長	人/年	児童文化センターの年間利用者数	米子港・城下町周辺地区の滞在時間の延長を定量化する指標として、児童文化センターの年間利用者数を設定する。	160,814	R6	165,000	R12
米子港・城下町周辺地区の回遊性の増加	人/年	米子市循環バス「だんだんバス」の年間利用者数	米子港・城下町周辺地区の回遊性を定量化する指標として、だんだんバスの利用者数を設定する。	84,858	R6	90,000	R12
米子港・城下町周辺地区の入込客数の増加	人/年	山陰歴史館の年間利用者数	米子港・城下町周辺地区の入込客数を定量化する指標として、山陰歴史館の年間利用者数を設定する。	32,546	R6	35,000	R12

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○基盤整備による、回遊性の増加 ・米子港・城下町周辺地区の回遊性の効果をさらに高めるため、山陰歴史館の再整備による機能向上を図る。</p>	<p>山陰歴史館整備事業【基幹事業・高質空間形成施設】 山陰歴史館整備事業【基幹事業・既存建造物活用事業】</p>
<p>○米子港・城下町周辺地区を訪れる人の増加 ・AR案内板を整備することで、観光客に対して多言語で直感的な案内が可能となり、周辺地域の回遊性や満足度の向上が期待できる。</p>	<p>AR案内板整備事業【基幹事業・地域生活基盤施設】</p>
<p>○滞在時間の延長 ・道路整備や照明施設設置等の更なる基盤整備を図ることで、夜間でも訪れやすい場所の提供を行う。</p>	<p>市道寺町通り線ほか2路線道路整備事業【基幹事業・高質空間形成施設】</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】 ○水上アクティビティの実施 令和7年度に第57回を迎えたボートレース「米子市民レガッタ」、地域活動として「泳げる中海の再生」を目指した成果を示す象徴的なスポーツ大会「中海オープンウォータースイム」等のイベント、大会が開催されている。 ○水辺の賑わい創出 米子市中町、天神橋付近を乗下船場として「加茂川・中海遊覧船」が運行しており、加茂川沿いの白壁土蔵前から下町の古い家並みを眺めながら加茂川を下り、中海へ出て、湊山公園や米子城跡、大山・中海を展望できる観光遊覧船として観光客を呼び込んでいる。また、市民が作った市民の祭りである「米子がいな祭」が毎年開催され、令和7年度に第52回を迎えました。中海において実施される花火大会では約8万人の近隣住民及び観光客が集い、地域の活力を創出している。</p> <p>○環境保全活動 中海・宍道湖がラムサール条約登録湿地となったことを記念し毎年開催される「中海・宍道湖一斉清掃」においては、地域住民、地元企業、周辺自治体の協働により約8,000名ものボランティアが集い、中海沿岸5市で一斉に清掃が行われる。また、NPO法人中海再生プロジェクトが中心となって、「10年間で泳げる中海」「中海を利用した活性化」を目的として、中海アダプトプログラムをはじめとした各種取組が継続実施されている。加えて、幼児から高校生までが参加できる環境学習活動として米子市が事務局を持ち実施している「こどもエコクラブ」では、加茂川・中海の水質測定や水生生物学学習、中海クルージング体験を行うなど、ワイズユースに繋がる環境学習を実施している。</p> <p>○下町観光 米子城跡の北側には、往時の町割りや小路の形態がよく残存していることから、まち歩きなどの観光コースとなっており、平成30年4月には「米子観光まちづくり公社(城下町観光ツアーを造成、販売する一般社団法人)」が設立され、歴史、文化、飲食、買い物等を複合的に提供する城下町観光の取組が一層盛んに行われている。また、城下町の中心部を東西に横切る加茂川周辺には、平成28年4月に認定を受けた日本遺産「地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」の構成文化財でもある「加茂川地藏群」が存在し、当地域独自の風習、歴史、文化の観点から、まち歩き観光の価値を高めている。</p> <p>○旧加茂川の名称変更 平成31年1月に米子市商店街連合会や自治連合会などの10団体から「旧加茂川」周辺の水辺空間を活かした歴史・文化・観光によるまちづくりを推進する目的で、「加茂川」の名称復活を望む要望書が本市へ提出され、本市から鳥取県へ同河川等の名称を変更する要望を行った。一級河川の名称の変更は国の権限であることから、鳥取県は河川管理者として幅広く県民意見を聞くためパブリックコメントを実施後、令和2年2月県議会の議決を経て国へ名称変更の要望を行い、令和2年8月5日に旧加茂川等の河川の名称が変更となった。</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	229	交付限度額	114.5	国費率	0.5
---------	-----	-------	-------	-----	-----

「都市構造再編集集中支援事業」を活用した場合、本様式を使用すること

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		AR案内板	米子市	直	10箇所	R9	R9	R9	R9	13	13	13	0	13	
高質空間形成施設		山陰歴史館	米子市	直	0.05ha	R8	R9	R8	R9	59	59	59	0	59	
		市道寺町通りほか2路線	米子市	直	950m	R10	R12	R10	R12	99	99	99	0	99	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	賑わい・交流創出施設(地域資源活用型)														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
広域連携誘導施設															
既存建造物活用事業	誘導施設	山陰歴史館	米子市	直	0.07ha	R8	R9	R8	R9	58	58	58	0	58	
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
暑熱対策事業															
合計										229	229	229	0	229	

都市再生整備計画全体のB/Cを算出する場合、記入

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	

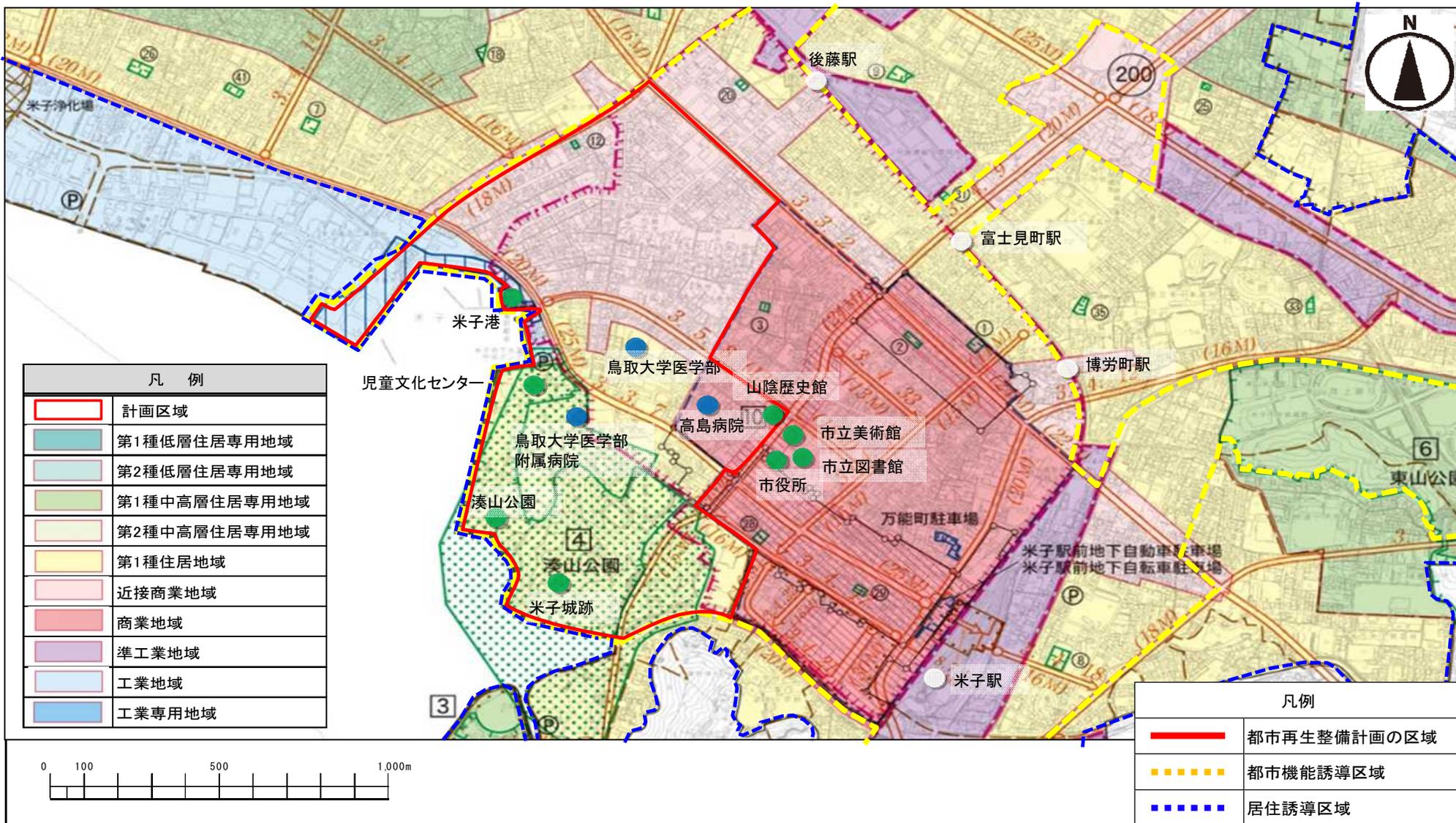
…B

居住誘導促進事業													
事業	事業箇所名	事業主体	直/間	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	
				開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
居住誘導促進事業													
合計								0	0	0	0	0	0
												合計(A+B+C)	229

(参考)都市構造再編集集中支援関連事業													
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費		
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度			
合計											0		

(参考)関連事業													
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費		
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度			
米子城周辺整備事業	登城路・広場	米子市				○			R6	R8	691		
米子港周辺整備事業	広場	米子市				○			R3	R7	485		
鳥取大学医学部附属病院再整備								○	R11				
米子港ウォーターフロントプロジェクト(仮)								○					
合計											1,176		

米子港・城下町周辺地区(第2期)(鳥取県米子市)	面積 131.8 ha	区域 米子市 瀬町一丁目、瀬町二丁目、瀬町三丁目、内町、西町、久米町、加茂町一丁目、加茂町二丁目、中町、天神町一丁目、天神町二丁目、岩倉町、寺町、立町一丁目、立町二丁目、立町三丁目、立町四丁目、花園町、角盤町三丁目、角盤町四丁目、尾高町
--------------------------	----------------	---



米子港・城下町周辺地区(第2期)(鳥取県米子市) 整備方針概要図

目標	<ul style="list-style-type: none"> 米子港、新加茂川、加茂川など貴重な親水空間を生かした新たな魅力創造 まちと河川が交わる港湾の立地条件を有効活用した地域活性化 主要な緑地や交流施設を結ぶ歩行者の散策回遊ネットワークの形成 誘導施設の整備による文化機能の充実、観光、歴史などの要素を融合させた地域づくり 鳥取大学医学部附属病院の再整備とまちづくりの視点で連携した公園再整備によって医療、健康増進機能の更なる向上 	代表的な指標	下町観光ガイド利用者数 (人/年)	2,000 (R6年度)	→	3,000 (R12年度)
			児童文化センター利用者数 (人/年)	160,614 (R6年度)	→	165,000 (R12年度)
			米子市循環バス利用者数 (人/年)	84,858 (R6年度)	→	90,000 (R12年度)
			山陰歴史館利用者数 (人/年)	32,546 (R6年度)	→	35,000 (R12年度)



地区名: 米子港・城下町周辺地区(第2期)
 区域面積: 131.8ha